

3年ぶりに開催
串良の冬の風物詩



1月28日・29日、「くしろ二十三や市」が行われました。この日は串良総合支所の周辺道路が歩行者天国となり、地元の特産品や刃物、農具、竹細工等の生活実用品のほか、日用雑貨など約150店が軒を連ねました。毎年1月末に開催され、春の訪れを告げる串良の風物詩である同イベントが開催されたのは3年ぶり、この日は市内外から約28,600人の来場者でにぎわいました。

地元子ども達に
競技の魅力を発信



1月28日、平和公園多目的グラウンドで「かのやホームタウンスポーツフェスティバル」が初開催されました。これは、女子プロソフトボールチームMORI ALL WAVE KANOYAとプロサイクリングチームCIEL BLEU KANOYAの両チーム合同で市民と交流を行うもの。イベントでは、各競技の講習会やO×クイズ等が行われ、参加した子ども達は元気いっぱいに選手たちとの交流を楽しみました。

1日限りの「食」の
マーケット開催



1月15日、リナシティかのやで「鹿屋よかもん商店市」が開催されました。今回初開催の本イベントは、市内の食関連事業者が販売する自慢の商品の認知度向上を図るために行われたもので、市内の38店舗が参加。当日は約6,000人が来場し、食事や買い物で鹿屋のおいしい食を楽しんだほか楽器演奏などのステージも催されるなど、にぎわいを見せていました。



かのやのホットな話題をお届け!

1点を争う大接戦
プロチーム激突



1月28・29日、串良平和アリーナでB3リーグのプロバスケットボールチームである鹿児島レブナイズと横浜エクセレンスの試合が行われました。鹿児島レブナイズのホームゲームとなった試合で、初日が92対96、2日目が86対90で惜しくも2試合とも鹿児島レブナイズが僅差で敗れましたが、プロチーム同士の大迫力の試合に観客全員が一体となった盛り上がりを見せていました。

41回目の市美展
受賞作品が並ぶ



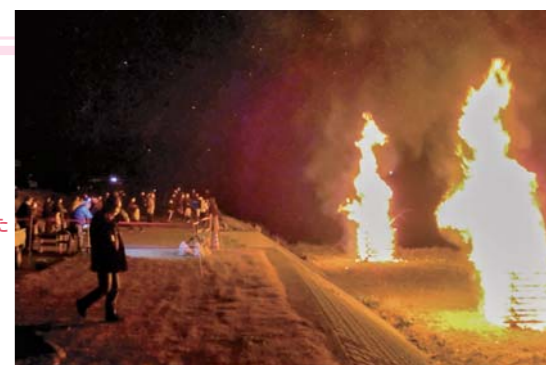
1月28日～2月5日、リナシティかのやで「第41回鹿屋市美術展」が行われました。これは、創作の喜びや鑑賞する楽しみをより多くの人に体験してもらうことを目的に毎年開催される展覧会。初日には受賞式が実施され、鹿屋市長賞を受賞した小迫妙子さん(曾於市)は「独学で描き続けて38年。今後は形を使わずに、線と色で自分の感性を表現していきたい」と創作への意欲を語りました。

個人やチーム全体
の成長を学ぶ



1月22日、リナシティかのやで「スポーツセミナー『スポーツ科学に基づいたチームづくり・マネジメント』」が開催されました。講師は鹿屋体育大学講師であり、同大学硬式野球部を就任8年間で8度のリーグ優勝に導いた藤井雅文監督。セミナーでは、様々な事例とともに個人やチームが成長するために必要な取り組みが紹介され、32人の参加者は更なる競技力向上への理解を深めていました。

吾平鬼火焚き
祈り込め燃え盛る



1月21日、始良川河川敷で「吾平鬼火焚き」が開催されました。これは、あいら川かわまちづくり実行委員会が主催したもので、今回は大隅河川国道事務所が河川堤防を整備したことに合わせ、更生橋付近の整備地で実施。河川敷には近隣の小学生などが制作した紙袋灯ろう約450個が並び、2つのかがり火が勢いよく点火されました。訪れた人は鬼火焚きの熱と煙に驚きの声を上げていました。

市の社会教育
功労者・団体を表彰



1月31日、市役所で「令和4年度鹿屋市社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰式」が行われました。これは青少年育成や生涯スポーツ振興、文化振興などの部門において、長年にわたって社会教育に尽力し、特に功労のあった個人及び団体を表彰するもの。本年度は個人において3部門5人、団体では3部門3団体が受賞し、表彰状と記念品が贈呈されました。

バスケの熱戦に
盛り上がる



1月29日、鹿屋体育大学で「BasketBall Futures Match 2023」が開催されました。これは、九州1位の女子バスケットボール部である日本経済大学と鹿屋体育大学との試合を通じて「みる」スポーツを提供するもの。試合は、残り10秒で鹿屋体大が同点に追いつく非常に緊迫した展開となり、延長戦の末に鹿屋体育大学は敗れましたが、観戦者はレベルの高い好ゲームを楽しんでいました。

電車と一緒に
電子図書を楽しむ



1月28日、市立図書館で「かのや市電子図書館×電車」が開催されました。これは、市立図書館と読書サークル「かのやブックラボ」が電子図書サービスの普及のために行ったイベントで、今回は電車とのコラボを実施。約30人の参加者は電子図書館の使い方を学び、電車の本などを楽しみました。その後、電車のペーパークラフトや塗り絵、鉄道玩具などで夢中に遊ぶ姿が見られました。

鹿屋市文化協会が
半世紀の節目祝う



1月22日、かのやグランドホテル(共栄町)で「鹿屋市文化協会創立50周年記念式典」が開催されました。同協会は、地域文化の振興を目的とした団体で、旧鹿屋市内で別々に活動していた各種同好会を一つにまとめるため昭和47年に設立。式典では、協会の歴史の紹介や功労者の表彰が行われたほか、祝儀舞や各団体によるアトラクションも催され創立50年を祝いました。